

女性が働きやすい 職場を作るために

長野県長野工業高等学校 建築学科
女性の働き方を考える会
(深谷光一 神林春人)

テーマの設定理由

性別役割分業意識がまだ残っており、女性が働きにくい職場が出来てしまっていると思います。

そこ、女性が働きやすい職場が実現できれば、男女問わず仕事に対して働き甲斐をもつことができ、日本全体の経済成長や技術発展の向上することができると思ったから。

定義

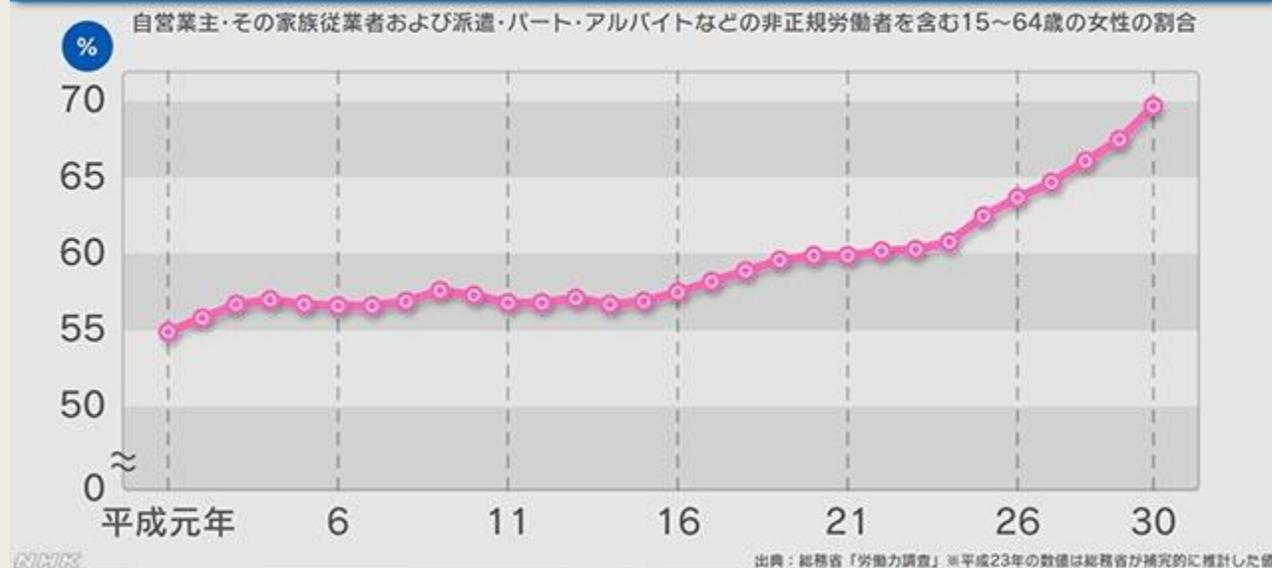
働きやすい職場とは

→ 働く時間や場所の融通が効き、
雰囲気が良い職場

現状

■ 女性の就職率

女性の就業率 推移



平成元年

→ 55%

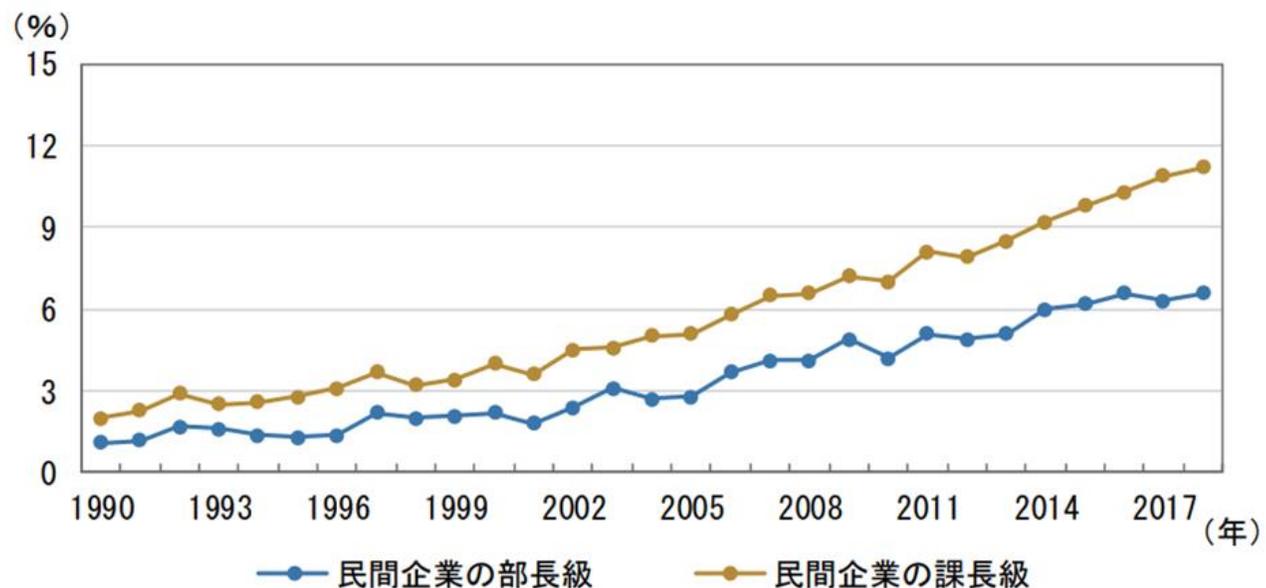
平成30年

→ 70%

出典：総務省「労働力調査」※平成23年の数値は総務省が補完的に推計した値

■ 管理職に占める女性の割合

図表3 管理職（部長級、課長級）に占める女性の割合の推移



(注) 100人以上の常用労働者を雇用する企業における女性管理職の割合である。
(出所) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より作成

部長級

1% → 7%

課長級

2% → 11%

出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

問題点

- 女性にとってのロールモデルが少ない
- パワハラ・セクハラ問題がある

※ロールモデルとは

→具体的な行動技術や行動事例を模倣・学習する対象となる

人材

今後の課題

- 職場全体の雰囲気をよくするために上下関係をなくしなるべくフラットな職場を作っていく
- どんなことがあっても会社全体で臨機応変に対応する体制を整えておく
- 長野県のように「イクボス・温かボス宣言」を行う
- ロールモデルはいるが、あまり知られていないので、その方々をもっと広めるような活動を、増やしていく

SDGs実現に向けて ～10代からの提言～

会社を変えるには今までの偏見をなくすために講演会などを開く。
女性が働くことの大切さを知ってもらうことで**会社全体**で体制などを考え直し雰囲気づくりをしていく必要がある。

考察・感想

今回家庭科の授業を通して、日本の女性の働きにくさについて知ることができました。昔よりは改善されているもののまだ悩んでいる人がいます。

さらにこの状況が続くとこれから社会に出る私たちにも影響が出てきます。

そこで、この状況が早く改善されるように会社全体、日本全体で変えていく必要があると思いました。